

新メンバーに代わり、5年ぶりの開催!!

Japan XO Trombone Quartet



ジャパン・エックスオートロンボーン・クアルテット Japan XO Trombone Quartet Concert Tour 2023

【出演】

中野 耕太郎 Kotaro Nakano <札幌交響楽団副首席奏者>
若狭 和良 Kazuyoshi Wakasa <エリザベト音楽大学教授>

棚田 和彦 Kazuhiko Tanada <群馬交響楽団第一奏者>
黒金 寛行 Hiroyuki Kurogane <NHK 交響楽団>

●大分公演

2023年1月11日(水) 19:00開演(18:30開場) J:COM ホルトホール大分 小ホール
一般/¥3,500 学生/¥2,000(当日券:各¥500up) ※チケット取扱いイープラス: <https://eplus.jp/>

●広島公演

2023年1月13日(金) 19:00開演(18:30開場) エリザベト音楽大学 セシリアホール
一般/¥3,500 学生/¥2,000(当日券:各¥500up) ※チケット取扱いイープラス: <https://eplus.jp/>
共催/エリザベト音楽大学

●東京公演

2023年1月15日(日) 14:00開演(13:30開場) 銀座 王子ホール
一般/¥3,500 学生/¥2,500(当日券:各¥500up) ※チケット取扱いイープラス: <https://eplus.jp/>

【曲目】 M.リス／メッセージ

Marc Lys / Messages

D. ユーバー／3つの小品 作品29

David Uber / Three Miniatures, op.29

C. ジェルベーズ編曲／トロンボーン四重奏の為の組曲

Claude Gervaise arr. / Suite Fur 4 Posaunen

A. ブルックナー (E. ウィリアムズ編曲)／キリストは我らのために

Anton Bruckner (arr.by E.Williams) / Christus factus est

J.S. バッハ (廣瀬大悟編曲)／無伴奏ヴァイオリンの為のパルティータ ニ長調 BWV1004より 5楽章 シャコンヌ

J.S.Bach (arr.by D.Hirose) / Partita for solo violin in D minor, BWV1004 V.Chaconne

G. フォーレ (H.K. モーガン編曲)／パヴァーヌ Op.50

Gabriel Urbain Faure (arr.by H.K.Morgan) / Pavane, Op.50

B. リン／Don't Let The Dervishes Take Khartoum



Japan XO Trombone Quartet Concert Tour 2023

ジャパン・エクスオートロンボーンカルテット (JXTQ) は2005の結成以来、全国各地でコンサートを開催している。4人の絶妙なテクニック、多彩な表現力、充分なダイナミックスの幅を持たせた豊かな響きは決して飽きることはないとの高評を得ており、数多くの音楽ファンを魅了している。これまでに札幌、山形、仙台、福島、牛久、富山、金沢、福井、高崎、山梨、岡谷、東京、静岡、名古屋、大阪、岡山、広島、高松、高知、防府、福岡、鹿児島でコンサートを開催。2011年には台湾の実践大学ホールにてコンサートを開催し、国内だけでなく国際的にも活動している。

また、日本各地での講習会や音楽鑑賞会等も行っており、トロンボーンの普及活動も積極的に実施している。

2008年、2009年、2014年とCDをリリース。2009年、2014年のCDは各地で開催したコンサートツアーのライブ録音を収めたもので、臨場感あふれる数多くの名演を音源としても残している。

本年からは、結成当初からのメンバーであった栗田雅勝氏に代わり、札幌交響楽団副首席奏者で栗田氏の愛弟子でもある中野耕太郎氏を新たなメンバーに迎え、これからも最高級 (XO) の演奏をお届けいたします。



中野 耕太郎
Kotaro Nakano

神奈川県出身。血液型：AB型。
2009年東京藝術大学卒業。卒業時に同声会賞を受賞。同声会新人演奏会に出演。第11回日本トロンボーン・コンペティション第2位。第3回トロンボーン・カルテット・コンクールinジパング第1位。第26回日本管打楽器コンクールトロンボーン部門第2位。第32回日本管打楽器コンクールトロンボーン部門第2位。これまでにトロンボーンを栗田雅勝、故・秋山鴻市、古賀慎治の各氏に師事。
現在、札幌交響楽団副首席トロンボーン奏者。北海道教育大学、札幌大谷大学、北翔大学、各非常勤講師。

【使用楽器：XO 1236L-O】



若狭 和良
Kazuyoshi Wakasa

広島県出身。血液型：B型。
エリザベト音楽大学卒業。パリ音楽院 (CNR)、パリ15区音楽院を一等賞で終了。
第14回日本管打楽器コンクール第2位。2000年～2005年、東京交響楽団首席奏者。
現在、エリザベト音楽大学教授、広島大学教育学部客員教授、広島トロンボーンステージリーダー。

【使用楽器：XO 1236L】



棚田 和彦
Kazuhiko Tanada

富山県出身。血液型：A型。
東京藝術大学卒業。1990年、シエナ・ウィンド・オーケストラ首席奏者。1991年、群馬交響楽団に入団。1998年、文化庁派遣芸術家在外研修員としてドイツに留学、Wolfram Arndt氏に師事。

現在、群馬交響楽団首席トロンボーン奏者。小諸高等学校音楽科、高崎経済大学附属高等学校非常勤講師。

【使用楽器：XO 1236L-T】



黒金 寛行
Hiroyuki Kurogane

福島県出身。血液型：O型。
東京藝術大学卒業。2006年、第4回チェジュ国際金管打楽器コンクール、バストロンボーン部門、第1位及びグランプリ受賞。

第23回日本管打楽器コンクール第1位。これまでにバストロンボーンを故・秋山鴻市、古賀慎治、シュテファン・シュルツの各氏に師事。

現在、NHK交響楽団バストロンボーン奏者。

【使用楽器：XO 1240L-T】



『名演はここからうまれる』

エクスオー・トロンボーンは、日本の管楽器メーカー株式会社グローバルが開発・プロデュースし、台湾の管楽器総合メーカー功学社 (KHS) で製造されているコラボレーションブランドです。

誕生に至るまで、多くの歳月を費やし、数多くのプレイヤーと対話し意見を取り入れ完成しました。

15世紀頃から、もとは教会で歌う合唱の旋律を支える役目として演奏され、人の声に最も近く、柔らかく調和する響きを持つトロンボーン。

そんな明るく、芳醇かつ調和する響きを求め、数多くのプレイヤーに愛され、エクスオー・トロンボーンは常に一歩ずつ進化し、より良い楽器へ向かっていきます。

カタログはこちら

